

吉名未来創造プロジェクト ～ わたしたちの力で吉名の町を盛り上げよう！ ～

1 単元のデザイン

本単元の目標

吉名町の現状に問題意識をもち、地域を発展させるための様々な取組を企画し実行することを通して、地域の課題について多様な人々と協働して考え、解決に向けて人々が連携しながら取り組んでいることに気づき、地域社会の一員としての自覚や郷土に対する深い愛情を高めることができるようにする。

単元について

本単元は、これまで自分を支えてくれた地域を活性化させるためにできることを生徒自身が企画し、実行することが主な活動である。地域活性化のためのアイデアは生徒自身が考え、綿密な計画を立てたり、学校運営協議会でのプレゼンテーションを通して必要な予算を確保したりする等、これまで培った資質・能力を最大限発揮して課題解決に向かうことができる単元である。

吉名町は年々人口が減少し、高齢化率も日増しに高まっている。このことは、吉名学園の児童生徒数が年々減少傾向にあることから生徒自身も薄々感じていると思われる。一方で、吉名町はじゃがいもなどの特産物や歴史的建造物、古くからある企業、豊かな自然等、様々な魅力がある。地域活性化のための取組を考える中で、これらの魅力を再発見し、それを生かした取組を企画することが考えられる。また、新たな魅力を創造する取組を考える中で、他地域にも目を向けることが考えられる。

SDGsの視点：11 住み続けられるまちづくりを

生徒が自分たちの住む町のよさや課題に気づき、よさを生かしたり課題を克服したりするための取組を企画し実行することで、持続可能なまちづくりに貢献していこうとする態度を養うことが期待できる。

児童生徒の実態

本学級ではほとんどの生徒が、自分たちの住んでいる吉名町が好きで、誇りに思い、多くの人に吉名町を知ってほしいという思いをもっている。一方で、将来吉名町に住みたいと思っている生徒はほとんどいない。それは、吉名町の抱える課題を生徒自身が感じているからだと考えられる。

本学級の生徒は授業や学校生活の様々な場面でICTを活用した文書やプレゼンテーション資料の作成、動画作成に取り組んだり、プレゼンテーションを行ったりしている。そのため、生徒全員が、個人でGoogle スライド等を用いてプレゼンテーション資料を作成し、プレゼンテーションをすることができる程度のICT活用力とプレゼンテーション力をもっている。本単元においてもこれらの力を活用させ、さらに伸ばしていきたい。

また、日常の様子から、多様なアイデアを出したり様々な活動を企画したりする姿が見られ、企画する力や発想する力・工夫する力は高い傾向にあると考える。一方で、それらのアイデアを関連付けたり、企画の実現に向けて論理的に考えたりすることができていないこと、考えた企画を途中で投げ出そうとすることが多く、整理・分析する力、やり遂げる力に課題があると考える。

指導の工夫

(1) プロジェクト型学習

単元の導入で減少の一途を辿る吉名町や学園の人口推移を示したり人口減少によって起きる問題を提示したりすることで、生徒に問題意識をもたせ、未来の吉名町のために何ができるかを本気で考えることができるようにする。

生徒がこれまでに身に付けた様々な力を発揮してプロジェクトを遂行することができるように、各グループに指導者を配置し、ファシリテーター的役割を行う。

生徒が主体的・協働的に課題解決に取り組むことができるように、次の2つのことを行う。一つは各プロセスにおいて、つまづきや分からないこと等の失敗や困難に出合った場面ではグループで丁寧に議論し、解決していくように促すことである。もう一つは実社会とつながる場の一つとして学校運営協議会の方に企画を提案し、それに対して出された批判やアドバイスを受けて改善案を考える活動を設定することである。

(2) ICT活用

本単元では、主に個別と協働の場面でICTを活用する。具体的には企画の提案に向けてインターネットで情報を検索したりアンケートを実施したりする。また、企画を実行する際にはイラストや動画の作成をしたり、SNSを活用したりする。

(3) シンキングツールの活用

本単元では、主に以下の2つのシンキングツールを活用する。

- ① イメージマップ……吉名町の未来について自分たちができるアイデアを広げる場面で用いる。
- ② マトリックス……考えたアイデアを整理する際に用いる。

2 単元の評価規準及びルーブリック

評価の観点		S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
(1) 知識・技能	ア 知識	地域課題の解決について、地域の特徴を生かしながら、様々な人が連携して取り組んでいることを理解している。	地域課題を解決について、様々な人が連携して取り組んでいることを理解している。	地域課題の解決について、様々な人が関わっていることを理解している。	地域課題の解決について、様々な人が関わっていることを理解していない。
	イ 技能	プレゼンテーションソフト等を用いて、目的に応じて、自分の企画が明確にかつ効果的に伝わるような工夫を取り入れたプレゼンテーション資料を作成することができる。	プレゼンテーションソフト等を用いて、目的に応じて、自分の企画が明確に伝わるような工夫を取り入れたプレゼンテーション資料を作成することができる。	プレゼンテーションソフト等を用いて、目的に応じて、自分の企画が明確に伝わるような工夫を取り入れたプレゼンテーション資料を作成することができる。	プレゼンテーション資料を作成する際に、自分の企画が伝わるような工夫を取り入れることができない。
(2) 思考・判断・表現	ウ 課題を発見する力 企画する力	社会的な広い視野から地域社会の課題を見出し、課題解決に向けて、実現可能かどうか、地域にどのような効果をもたらすかという点を加味しながら、様々な企画(アイデア)を出している。	社会的な広い視野から地域社会の課題を見出し、課題解決に向けて、実現可能かどうかという点を加味しながら、様々な企画(アイデア)を出している。	地域社会の課題を見出し、課題解決に向けて、様々な企画(アイデア)を出している。	地域の課題を見出せない。また、様々な企画(アイデア)を出せない。
	エ 活動を計画・推進する力	課題解決に必要な情報や準備物等を自分自身で考え、時間的な見通しをもって、自発的・計画的に活動を進めるとともに、授業後も自主的に構想を練ったり活動を進めたりしている。	課題解決に必要な情報や準備物等を自分自身で考え、時間的な見通しをもって、自発的・計画的に活動を進めるとともに、授業後も自主的に構想を練ったり活動を進めたりしようと努めている。	課題解決に必要な情報や準備物等を自分自身で考え、時間的な見通しをもって、自発的・計画的に活動を進めている。	教師や友達の指示がなければ計画的に活動を進めることができない。
	オ 情報を収集する力	目的や達成したい課題に応じて様々な情報収集の方法を用いて、必要な情報を幅広く収集している。	目的や達成したい課題に応じて情報収集の方法を選択し、必要な情報を幅広く収集している。	目的や達成したい課題に応じて情報収集の方法を選択し、必要な情報を収集している。	目的や達成したい課題に応じた情報収集の方法を選択することができていない。また、必要な情報を収集することができていない。
	カ 整理・分析する力	様々な情報を、内容や目的に応じて最も効果的と思われるシンキングツールを選択し、自分たちの企画のよさや課題を整理・分析するとともに、他の情報と関係付けながら改善策を見出している。	様々な情報を、内容や目的に応じて最も効果的と思われるシンキングツールを選択し、自分たちの企画のよさや課題を整理・分析するとともに、改善策を見出している。	様々な情報を、内容や目的に応じて最も効果的と思われるシンキングツールを選択し、自分たちの企画のよさや課題を整理・分析している。	自分たちの企画のよさや課題を整理・分析することができていない。
	キ 表現する力	原稿なしで、その場で言葉を生み出しながらプレゼンテーションを行っている。また、必要に応じて写真や動画を提示するなどし、聞き手の共感を得たり他者を説得したりしており、プレゼンテーションに熱意と創意工夫が垣間見える。さらに、相手からの質問に臨機応変かつ誠意をもって対応し、詳しく企画を説明したり自分の考えを述べたりしている。	原稿なしで、その場で言葉を生み出しながらプレゼンテーションを行っている。また、必要に応じて写真や動画を提示するなどし、聞き手の共感を得たり他者を説得したりしている。さらに、相手からの質問に臨機応変に対応し、詳しく企画を説明したり自分の考えを述べたりしている。	原稿なしで、その場で言葉を生み出しながらプレゼンテーションを行っている。また、必要に応じて写真や動画を提示するなどし、聞き手の共感を得たり他者を説得したりしている。	原稿をそのまま読むことに終始し、自分の言葉として語ることができていない。また、聞き手を説得するという熱意が見えない。
	ク 発想する力 工夫する力	地域の未来を考えたり社会の傾向を捉えたりして、それを基に持続可能な視点も取り入れながら企画(アイデア)を構想している。	地域の未来を考えたり社会の傾向を捉えたりして、それを基に企画(アイデア)を構想している。	社会の傾向を捉え、それを基に企画(アイデア)を構想している。	構想している企画(アイデア)が社会の傾向を無視している。
	ケ 評価する力	自己評価及び他者評価を基に、多面的に企画や制作物等を見直し、よさや課題を明らかにしながら、その都度改善している。	自己評価及び他者評価を基に、企画や制作物等を見直し、よさや課題を明らかにしながら、その都度改善している。	自己評価及び他者評価を基に、企画や制作物等を見直し、その都度改善している。	自己評価及び他者評価を基に、企画や制作物等を見直せない。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度	コ 挑戦する力 やり遂げる力 (主体性)	実社会の場で活動することにもためらわず、勇気を出して活動を進めるとともに、実社会の厳しさに臨機応変に対応しながら、失敗や困難に出合ってもあきらめず、最後までやり切ろうとしている。	実社会の場で活動することにもためらわず、勇気を出して活動を進めるとともに、実社会の厳しさに臨機応変に対応しながら、失敗や困難に出合ってもあきらめず、今の自分ができることを精一杯行おうとしている。	実社会の場で活動することにもためらわず、勇気を出して活動を進めるとともに、実社会の厳しさに臨機応変に対応しながら、今の自分ができることを精一杯行おうとしている。
サ 協働する力 (協調性)		自他のよさを生かしつつ、自分の主張を通す場面と他者の主張を受け入れてサポートに回る場面とのバランスを取り、合意形成を図りながら活動を進めようとしている。さらに、様々な立場の人たちと協働しながら活動しようとしている。	自他のよさを生かしつつ、自分の主張を通す場面と他者の主張を受け入れてサポートに回る場面とのバランスを取り、合意形成を図りながら活動を進めようとしている。	自分の主張を通す場面と他者の主張を受け入れてサポートに回る場面とのバランスを取り、合意形成を図りながら活動を進めようとしている。	自分の主張を通そうとし、他者の主張を受け入れようとしていない。
シ 将来を設計する力		活動を振り返る中で、自分や友達の成長や地域のよさに気づき、夢や希望をもって自分の将来や地域の未来を具体的なイメージを抱きながら切り拓こうとしている。	活動を振り返る中で、自分や友達の成長や地域のよさに気づき、夢や希望をもって自分の将来や地域の未来を切り拓こうとしている。	活動を振り返る中で、自分や友達の成長や地域のよさに気づき、自分の将来や地域の未来について考えを深めている。	活動を振り返る中で、自分自身の成長や地域のよさに気づいていない。また、自分の将来や地域の未来について考えられていない。

3 指導と評価の計画（全 38 時間）

時	学習活動		ICT 活用	シンキング ツール	評価規準 (評価方法)
1 ・ 2	<ul style="list-style-type: none"> ●吉名町の未来を想像し、地域の発展ためにどのようなことができるか考える。 ・吉名町の人口や吉名学園（旧吉名小学校・中学校）の児童生徒数の推移を見て、年々人口が減少傾向にあることに気付く。 ・20年後の吉名町について想像し、どのような問題が起きているかを推考する。 ・吉名町の未来のために、現在の自分たちに何ができるか、アイデアを出し合う。 <ul style="list-style-type: none"> →地域の特産物を生かした商品を開発する。 →地域のイベントを企画し、開催する。 →SNS を使って学園や吉名町の情報を発信する。 	わたしたちの力で吉名の町を盛り上げよう	一斉 個別	イメージマップ	(2)ウ (2)ク (行動観察, 振り返りシート)
3 ・ 13	<ul style="list-style-type: none"> ●学校運営協議会に向けて、企画書及びプレゼンテーションの準備をする。 ・中心になって取り組みたい内容ごとにグループを構成する。 ・活動目的・活動内容・活動時期・活動費用等を明確にした企画書を作成する。 ・学校運営協議会に向けて発表資料を作成し、プレゼンテーションの練習をする。 ・互いにプレゼンテーションを見合い、よい点や改善点を指摘し合う。 ・内容や発表方法を修正する。 		一斉 個別 協働		(1)イ (2)オ (2)カ (2)ク (2)ケ (行動観察, ワークシート, 振り返りシート)
14 ・ 15	<ul style="list-style-type: none"> ●学校運営協議会で自分たちの企画をプレゼンテーションする。 ・自分達の考えた企画をプレゼンテーションする。 ・質問されたことに臨機応変に対応する。 ・いただいた指摘やアドバイスを整理して改善案を考える。 		個別 協働	Yチャート マトリックス	(2)カ (2)キ (プレゼンテーション, シンキングツールの分析, 振り返りシート)
16 ・ 27	<ul style="list-style-type: none"> ●企画の実行に向けて、分担して活動を進める。 ・全員で協力して取り組む活動とグループごとに並行して取り組む内容とに分類し、今後半年間の大まかな活動計画を立てる。 (例) <ul style="list-style-type: none"> →商品開発や SNS：6～11月の期間、グループ別に活動する。 →イベント(祭り)：12～2月の期間、全員で協力して活動する。 ・企画内容に応じて、活動を進める。 (例) <ul style="list-style-type: none"> →企画部：イベントの企画、交渉 →商品開発部：商品開発の推進 →広報部：イベントや商品の宣伝 →総務部：経費の計算や物品の調達 		個別 協働		(2)エ (2)ク (2)ケ (3)サ (行動観察, 制作物, 振り返りシート)
28 ・ 33	<ul style="list-style-type: none"> ●吉名町の未来のために、企画を実行する。 ・これまでの取組を基に、企画を実行する。 (例) <ul style="list-style-type: none"> →開発した商品をお店に持って行く。 →イベントを開催・運営する。 →学園祭で宣伝する。 		協働		(3)コ (3)サ (行動観察, 振り返りシート)
34 ・ 38	<ul style="list-style-type: none"> ●活動を振り返り、自分達の成長や地域の未来について考え、まとめる。 (例) <ul style="list-style-type: none"> →動画にしてまとめる。 →報告文にして、卒業文集に掲載する。 	個別 協働		(1)ア (3)シ (行動観察, 制作物, 振り返りシート)	

4 本時について

(1) 本時の目標

- ①自分たちが考えた企画を学校運営協議会の方へ提案することを通して、その場で言葉を生み出しながら聞き手の共感を得たり説得したりするプレゼンテーションを行うことができる。
- ②自分たちの企画に対する指摘やアドバイス等を整理・分析することを通して、様々な情報を目的に照らし合わせて最も効果的なシンキングツールを選択して、自分たちの企画のよさや課題を考えることができる。

(2) 本時の評価規準及びブルーブリック

S(期待以上)	A(十分満足できる)	B(概ね満足できる)	C(努力を要する)
原稿なしで、その場で言葉を生み出しながらプレゼンテーションを行っている。また、必要に応じて写真や動画を提示するなどし、聞き手の共感を得たり他者を説得したりしており、 <u>プレゼンテーションに熱意と創意工夫が垣間見える。</u> さらに、相手からの質問に臨機応変かつ誠意をもって対応し、詳しく企画を説明したり自分の考えを述べたりしている。	原稿なしで、その場で言葉を生み出しながらプレゼンテーションを行っている。また、必要に応じて写真や動画を提示するなどし、聞き手の共感を得たり他者を説得したりしている。 <u>さらに、相手からの質問に臨機応変に対応し、詳しく企画を説明したり自分の考えを述べたりしている。</u>	原稿なしで、その場で言葉を生み出しながらプレゼンテーションを行っている。また、必要に応じて写真や動画を提示するなどし、聞き手の共感を得たり他者を説得したりしている。	原稿をそのまま読むことに終始し、自分の言葉として語ることができていない。また、聞き手を説得するという熱意が見えない。

S(期待以上)	A(十分満足できる)	B(概ね満足できる)	C(努力を要する)
様々な情報を、内容や目的に応じて最も効果的だと思われるシンキングツールを選択し、自分たちの企画のよさや課題を整理・分析するとともに、 <u>他の情報と関係付けながら改善策を見出している。</u>	様々な情報を、内容や目的に応じて最も効果的だと思われるシンキングツールを選択し、自分たちの企画のよさや課題を整理・分析し <u>するとともに、改善策を見出している。</u>	様々な情報を、内容や目的に応じて最も効果的だと思われるシンキングツールを選択し、自分たちの企画のよさや課題を整理・分析している。	自分たちの企画のよさや課題を整理・分析することができていない。

(3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)
1 本時の目標の確認		
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">プレゼンテーションをして、いただいたアドバイスを整理する。</p> 2 運営協議会の方にプレゼンテーションを行う。	◇聞き手の共感を得たり説得したりすることができるプレゼンテーションを行うことができるよう、目的を意識した発表にすること、分かりやすさと熱意を大切にすることを事前に指導する。	原稿なしで、その場で言葉を生み出しながらプレゼンテーションを行っている。また、必要に応じて写真や動画を提示するなどし、聞き手の共感を得たり他者を説得したりしている。 (プレゼンテーション)
	◇運営協議会でいただいた指摘やアドバイスについて適切なシンキングツールを用いて整理することができるよう、複数のシンキングツールプリントを用意しておく。 ◇いただいた指摘やアドバイス等を基に改善を図ることが企画を実現させることにつながることを伝え、生徒が企画の実行に向けて粘り強く取り組み、次の一歩が踏み出せるようにする。	様々な情報を、内容や目的に照らし合わせて最も効果的だと思われるシンキングツールを選択して自分たちの企画のよさや課題を整理・分析している。 (シンキングツール、振り返りシート)
	4 本時の学習の振り返りをする。	

(4) 準備物

タブレット端末 (生徒必要数分) モニター ケーブル ホワイトボード シンキングツールプリント